

大正硝子館本店・とんぼ玉館・びーどろ館

- 物件名：大正硝子館本店・とんぼ玉館・びーどろ館
- 住所：色内1-1-8
- 電話：32-5101
- 所有者：ナトリ株式会社
- 運営者：久末智章（代表取締役）
- 主任と人員：一戸美雪（店長）、3館で25人
- 建物履歴
 - 明治39年 名取高三郎商店
 - 昭和60年 小樽市歴史的建造物指定
 - 平成10年 現びーどろ館に小樽大正硝子館オープン
 - 平成15年 大正硝子館本店・とんぼ玉館・びーどろ館ラインナップ

※名取高三郎商店

- 明治17年 名取高三郎が金物店経営m後年①印名取商店創業
- 明治33年 小樽電話局開設で「電話番号1番（小樽）」取得
- 明治39年 小樽市色内町に店舗・倉庫を新築
- 明治43年 北海道セメント（現・太平洋セメント(株)上磯工場の前身）と販売契約を締結
- 大正6年 浅野セメント(株)北海道支店（現・太平洋セメント(株)）と販売契約を締結
- 昭和35年 株式会社名取商店に改組
- 昭和38年 本社機構札幌移転 函館支店開設
- 昭和46年 本店所在地札幌市に変更
- 昭和47年 名取合名会社を合併しナトリ株式会社に改称
- 昭和52年 旭川支店開設
- 昭和58年 ナトリ本社ビル札幌に新築
- 平成20年 太平洋セメント(株)連結対象子会社となる青函生コングループ（函館）商社「株式会社アクト」と合併
- 平成21年 平産業株式会社と合併



外観（本館）

■外観

- ①美しい硝子窓（本店）／山側と札幌側が美しい硝子張り。
- ②うだつ（本店）／盛業のシンボルと防火の役割としてのうだつを西と南に設置。
- ③ルーフヒーティング（本店）／融雪のために屋根にルーフヒーティング設置。
- ④開口部（3館）／入口出口やショーウィンドウの開口部設置。
- ⑤二階の床材移築（とんぼ玉館）／1階が土間だったことから、2階の床材を1階に移築。
- ⑥体験工房（とんぼ玉館）／1階奥と2階を体験工房として活用。

■内観

- ①鉄柱／石の重さを木骨と鉄柱で支えている。
- ②宮大工／釘を使わない宮大工の梁。
- ③貴重な木材を使用／とんぼ玉館とびーどろ館とは違う貴重な木材を使用。

■内容

久末社長は「小樽住民ではなく小樽市民でありたい」という名言を語る通り、小樽で硝子ビジネスをするからには、小樽の文化に相応しい器が必要と確信してこの物件にたどり着く。

硝子のメーカー、アート、アクセサリー、アウトレット、伝統芸術品、小樽の硝子作家ギャラリーなど多彩な硝子ワールドを多店舗展開。

■コンセプト

底抜けに明るい久末社長を筆頭に、スタッフは皆明るく懇切丁寧に対応。

■客層

ほぼ100%が観光客、リピーターも増えている。

大正硝子館本店・とんぼ玉館・びーどろ館



梁と漆喰壁（とんぼ玉館）



体験工房（とんぼ玉館）



内観（びーどろ館）



碍子引き配線残る本館



外観（びーどろ館）



外観（とんぼ玉館）



意匠を凝らした鉄柱（本館）



一戸美雪氏

